

令和2年度 1, 2年生修了式

令和3年3月24日（水）

それでは、修了式にあたり少し話をします。

今年は新型コロナウイルス感染症の話ばかりになって、皆さんもうんざりしているかもしれません、全国の中学校に限らず、小学校、高校、大学など今年はどこの学校でも大変な思いをされたことでしょう。昨年も急遽、3月中は学校が休校となりましたが、それでも年度内は通常の学習に加え、部活動の大会、学校祭などいつものように行われました。しかし、今年度は5月末までの臨時休校、夏休みの出校に加え、夏の部活動の地区大会の中止、学校祭の規模の縮小、野外活動の中止など例年とは異なるものばかりでした。先生たちも急な対応に右往左往することも多く、何度も校内や他の学校ともどうしていったらよいかを相談することがたくさんありました。「何気ない日常を過ごすこと」がいかに幸せかを校長先生も実感した年となりました。

しかし、過去は取り戻せません。これからワクチン接種が始まり感染が収まって「何気ない日常」が戻ってくることを願っています。ただ、今年経験したことは、何もマイナスなことばかりではありません。例えば、学校祭では合唱やブロック対抗で行う種目はなくなりましたが、学級対抗種目や黒板アートなど新しいものを考案するなど、まさにピンチをチャンスに変えた成果だと思います。これは卒業した3年生も含めた全校の皆さん之力です。この状況でネガティブでなく、ポジティブな姿勢で動いた皆さんなら、これからどんな困難に対しても後ろ向きでなく、前を向いて進めるはずだと確信しました。

また、先日も立会演説会が開かれた折り、立候補者の皆さんからはオレンジリボン活動をさらに充実させたい、意見箱を設置してみんなの声を集めてよりよい生徒会活動をしていきたいなどの頼もしい演説がありました。特にオレンジリボン活動は、佐織中学校の特色ある活動の一つです。いじめばかりでなく、ダイバーシティ（多様性）の学習を今年は新たに人権集会で行いましたが、男女の性差に捉われない気持ちや行動を心がけてほしいと願っています。

それと関連して、次年度からは先日PTAの折に保護者の皆さんに話しましたが、学校でも変わっていくことがたくさんあります。2年生はデイキャンプになったり、3年生の修学旅行は来年度のみですが行先を変更したり、男女混合の名簿を使ったりすることが皆さんに関わる主な変更点です。男女混合の名簿を採用するあたり並び順なども変わっていき最初は戸惑うかもしれません、すぐに慣れていきます。皆さんの力で今までの伝統を引き継ぐとともに、新しい佐織中スタイルを作ってください。

次年度は今の2年生は最高学年になり学校を引っ張っていく立場になります。また、今の1年生は、2年生となり後輩を迎える立場になります。それぞれの学年の皆さんのが自分たちの立ち位置をしっかりと自覚して学校生活を送ってほしいと願っています。校長先生もこの学校に赴任して最初に一日だけ皆さんと顔合わせをしたらすぐに休校になるという状況で、これからどうなるのかと心配をしていましたが、皆さんと一年を過ごして、つらいこともありましたが楽しい出来事もたくさん経験しました。また、担当の先生方からも皆さんのが学習や部活動、学校行事や掃除など様々な場面で自分の力を発揮したり、友達と励まし合ったり協力し合ったりする様子を聞いて嬉しく思い、この学校に勤務できて本当に幸せだと感じました。来年も先ほど話したように新しい佐織中スタイルを先生たちと共に創り上げていきましょう。これで校長先生の話を終わります。